

885 国家試験合格者謝恩会

〔『法学新報』第36巻3（410）号 大正15年3月1日〕

国家試験合格者謝恩会

大正十四年度国家試験合格者中母校出身者は高等試験各科を通じて四拾余名の多数を占め在學生亦数名あり是れ質実剛健の學風の然らしむる所なるも又諸先生の御指導に負ふ所大なるを以て諸先生に対する謝意の微意を表する為め一月十八日午後五時本郷燕楽軒に於て謝恩会を開催したるか定刻來賓として花井先生、佐藤先生、天野先生、大松先生、岩崎先生の御來臨を得合格者にして参会する者十五人、紀念撮影を為し食堂に入る「デザートコース」に入るや發起人にして嘗ては母校辞達会の花形西原要人君立ちて合格者を代表して母校諸先生の高恩を謝す次

に來賓側花井先生より御懇篤なる御祝辭と將來に於ける御教訓を、佐藤先生より御懇切なる御祝辭を、天野先生の洋行土産談等にて感激に酔ひ和氣漂ふ、花井先生の御發聲にて中央大学の萬歳を、佐藤先生の御發聲にて合格者の萬歳を各三唱しそれより自己紹介に入る或は苦心談あり奮闘談あり談笑尽くるを知らず九時宴を閉ち別室にて更に將來を談し九時半散会せり因に登第せられるは大野米八、長岡伊八、安來歡一郎、宮脇峯雄、松尾清藏、羽田實、西原要人、西田敬介、脇田小瀨次郎、川名春治、中島忠三郎、栗原民之助、松尾清藏、福田力之助、遠藤利一郎、水戸健吉、澁谷又二、加藤勝造、石動丸源六、畑中造酒治、羽田實、原政憲、長谷川幸平、東條欣一、小澤徑雄、渡邊賢一、渡邊三郎、綿尾善悪雄、改田彌一郎、鍛冶〔治〕利一、高木健助、名畑半三郎、成瀬太市、中田玉市、永田國光、栗田西之助、柳田貞吉、青野實雄、佐野眞佐男、森田大芳、菅原清の諸氏なり